

## 平成30年度生産技術委員会活動方針

### (1) 活動基本方針

#### ① 会員相互の技術の共有

本委員会および分科会活動等を通して、石油生産技術に関する会員相互の知識・技術・経験の共有を図り、石油技術協会、石油開発業界の発展に寄与する。

#### ② 業際化

石油生産技術に関する知識・技術・経験を広く業界内他部門ならびに業界外に発信し、関連部門・業界との連携に努めることによって、当協会、業界の発展に寄与する。

#### ③ 国際化

国際的石油技術社会の一員として海外の学会、大学、石油会社との連携に努め、当協会、業界の発展に寄与する。

なお、委員会活動が地下技術に偏り、生産操業現場技術者への貢献が疎かになりがちなことに対し改善すること、ならびに新しい時代を担う若い技術者層の確保に努めることを目標とする。

### (2) 具体的な委員会活動

#### ① 2か月に1回開催することを原則とする。

- 開催日は原則として奇数月の第1木曜日とし、会場は各社持ち回りとする。
- 大学・学生との交流のためには、臨時の委員会開催も考慮する。

#### ② 原則的に各社持ち回りで、委員会の際に講演または話題提供を行う。

- 本委員会以外の会員の上記講演または話題提供への参加希望については、会場等の状況が許す限り歓迎する。
- 上記講演等の内容の会員への還元を目的として、春季講演会での発表、協会誌への掲載等を検討する。
- 地方および東京の大学において、年2回程度委員会を開催し、石油開発業界の活動紹介を行って、大学・学生と交流し、会員獲得ならびに業界へのリクルートに努める。

#### ③ 石油技術協会春季講演会シンポジウムの企画実行を行う。

- 本年度のシンポジウム発表原稿をとりまとめ、協会誌に掲載するために、編集委員会に協力する。
- 本年度の結果につき意見交換を行い、プログラム小委員会を中心に、次年度石油技術協会春季講演会シンポジウムの企画実行を行う。

#### ④ 本委員会としての意見質問等を、必要に応じて吉良委員長、林田幹事/岡本幹事を通じて、理事会、幹事会へそれぞれ上程する。

#### ⑤ 委員の要望に応じて講演会、ワークショップなどを開催する。

#### ⑥ ホームページワーキンググループへの参加を通じて、石油技術協会ホームページ活用に協力する。大学で講演した石油開発業界活動紹介をホームページに掲載する。

以上